

年 組 名前：

移住専門誌が調査した「2026年度版 第14回住みたい田舎ベストランキング」で、北杜市が「人口3万人以上5万人未満の市ランキング」の総合部門と若者世代・単身者部門、丹波山村が「村ランキング」の総合部門と若者世代・単身者部門で、それぞれ3位に選ばれた。ランキングは、宝島社（東京都千代田区）が発行する月刊誌「田舎暮らしの本」2月号で発表した。同社の全336項目のアンケートに全国547市町村が回答。人口変化や移住促進施策の有無などのアンケート結果を数値化した。県内からは、都留市、韮崎市など6市1村が参加した。

住みたい田舎 移住専門誌が調査 北杜、丹波山 部門3位

問1

移住専門誌が調査した「住みたい田舎ベストランキング」で、北杜市と丹波山村が、それぞれ3位に選ばれました。
選ばれた部門を教えてください。

村の中で最も多かった。丹波山村は、1992年から続けている「親子山村留学制度」や、移住相談件数が多いことなどが評価された。

北杜市の担当者は「3位に選ばれて喜ばしい。今後も移住定住促進に努めたい」と話した。丹波山村の担当者は「移住説明会を定期的に実施するなど、これまでの取り組みが実を結んでいると考えている」と話した。

このほか、韮崎市が「人口3万人未満の市ランキング」の若者世代・単身者部門で17位だった。

〈木場菜摘、武田寛明〉

(2026年1月13日付 山梨日日新聞 16面)

北杜市：.....

丹波山村：.....

問2 丹波山村が選ばれた理由を教えてください。

.....

問3 あなたは、県外から山梨県に移住する人を増やすには、何をすればよいと考えますか。

.....

.....